

日本共産党松江市委員会機関紙

新しい松江

発行 日本共産党松江市委員会・松江市袖師町3-6 電話24-2456

6月市議会の日程決まる

松江市議会6月定例会は、15日から7月6日の日程で開催されます。一般質問は6月20日(月)から22日の3日間です。山陰ケーブルビジョンで中継もされます。ぜひごらんください。

月	日	曜	会議名
6	15	水	本会議
	20	月	一般質問
	21	火	一般質問
	22	水	一般質問
	23	木	総務委員会、予算分科会
	24	金	教育民生委員会、予算分科会
	27	月	経済委員会、予算分科会 建設環境委員会現地視察
	28	火	建設環境委員会、予算分科会
	29	水	教育民生委員会、予算分科会
7	1	金	予算委員会
	6	金	本会議(討論・採決)

原発ゼロの未来こそ国民の命くらしまもる道 国政の転換で実現しよう



抗議宣伝する(左から)たちばな、舟木、尾村、大国の各氏

日本共産党の尾村利成、大国陽介の両県議、舟木けんじ、たちばなふみ両市議が県庁前で昼に抗議宣伝しました。

尾村、大国の両県議は「県民の命と安全を守るのかどうか」「県政の主人公である県民の理解と合意が得られているのか」の判断基準からみて、「避難計画の実効性はなく、県民の理解と合意は

島根原発2号機動かすな 知事の再稼働容認に抗議

丸山達也知事は2日、県議会本会議で、原発の安全性、避難対策、必要性、関係自治体等の意見を挙げ、島根原発2号機の再稼働は「現状においてやむを得ない。容認することとする」と表明しました。「住民の不安は事実で安全に

対する意識改革の徹底を中電に求める」と説明。現時点で避難計画に実効性があるとしながらも「不安や疑問の声を参考に実効性を高めていく」と述べ、地域経済や温室効果ガス削減など「原発が一定の役割を果たすことは理解でき

る」と強弁しました。

また県庁前庭では「原発ゼロをめざす島根の会」が、丸山知事の判断に抗議する集会を開きました。集まったメンバーは「県知事は県民の生活、命、暮らしを守る義務がある」「ふるさとを奪うことになりかねない」「命を脅かす原発稼働ありえない」「わたしたちはあきらめない」と次々にマイクをにぎりリレートーク。「住民の声を聴け!」とシュプレヒコールを上げました。

得られていない」と強調し、「原発ゼロの島根を一緒につくろう」と呼びかけました。

たちばな市議は「中電が不祥事を繰り返す中での事前了解はありえない。松江市でも撤回を求める」と決意表明、舟木市議は「原発ゼロを決断してこそ省エネと一体に再エネへの転換ができる」と訴えました。



集会でリレートークする参加者

4日、松江市イオン前にて日本共産党の井上さとし参院議員が、にひそうへい参院比例候補、福住ひでゆき参院島取・島根選挙区候補とともに演説しました。

井上氏は、2日に島根県知事が島根原発2号機の再稼働に同意したことについて、「一度事故が起きれば取り返しのつかない事態になる。島根原発は全国でただ一つ県庁所在地にある原発です」と批判。

「原発利権と一切無縁、原発ゼロでぶれることのない日本共産党を伸ばして原発再稼働ノーの声を突き付けよう」と力を込めました。

次いで井上氏は「食料品や生活必需品の高騰はコロナやウクライナ危機の影響だけでなく、異次元の金融緩和で円安を進めてきたアベノミクスの失政だ」と指摘。「大企業と富裕層に応分の負担を求め、消費税を減税することこそ国民の声です」と訴えました。



街頭で訴える井上哲士参院議員

にひ氏は「暮らしを守るのも戦争を止めるのも民主主義の力です。憲法こそ希望。いまこそ弁護士を先頭に共産党の比例5議席、必ず勝ち取らせてください」と支持を求めました。

うなずきながら聞き入る人の姿が多くみられ、また通行人やドライバーからも声援が寄せられました。

日本共産党島根県女性後援会・島根県女性後援会共同開催
「私の願い」で政治を変えたい。選挙に行こう!

オンライン
にひさんとトーク
～話す、つながる、変えていく～

6/11
(土)
10:30～11:30

憲法こそ希望、いまこそ弁護士
前参院議員 **にひ そうへい**

参院議員 党ジェンダー平等委員長 **倉林 明子**

島根県国政対策責任者 **福住ひでゆき**

日本共産党女性後援会
090-3889-3519(山崎)
党島根県委員会24-2444

原発ゼロの声を島根から 井上哲士参院議員が訴え